

事業評価調書

◎基本情報

年度	令和3年	会計コード	10	一般	事業コード	36276
事業名	500m美術館運営費					
評価担当課	所属名	市)文化部 文化振興課				
	課長名	浜部	担当者名	加納	電話番号	011-211-2261
施策名	主	-				
	副					
アクションプラン	○ 対象 ● 対象外		戦略ビジョン	○ 対象 ● 対象外		
事業の性質	● 経常経費 ○ 臨時的経費					
	○ 内部管理 ○ 法定経費 ○ 指定管理					
事業内容	実施形態	○ 直営 ● 一部委託 ○ 全部委託 ○ 補助助成 ○ その他				
	目的	短期	積雪寒冷地札幌において四季を通じて天候に左右されず通行できる地下空間を地元アーティストの発表の場として活用し、札幌の文化芸術を内外に発信するとともに、市民が日常においてアートに身近に接することのできる機会を継続して提供する。			
		長期	文化芸術活動に携わる人材を育成し、札幌市の文化芸術の振興に資すること。			
	取組内容	【目的】積雪寒冷地札幌において四季を通じて天候に左右されず通行できる地下空間をアーティストの発表の場として活用し、札幌の文化芸術を内外に発信するとともに、市民が様々な芸術作品に触れる機会を創出する。 【内容】①不特定多数の市民等が通行する地下鉄駅コンコースに彩りを添えるアートの展覧会を開催する。②設備維持管理費(電気代等)				
	実施結果	応募者の中からグランプリを決める美術館賞入選展や、市民ボランティアによる企画展のほか、活動歴の長い作家の個展、新進の作家8名の作品展示等、様々な作家や作品の展覧会を会期を分けて年4回実施。市民が身近にアートに接する機会を提供した。				
事業実施における工夫点	不特定多数の市民が通行する公共空間に設置された施設であることから、企画展の内容について、有識者で構成される500m美術館専門委員会より助言を受けている。					
対象者	市民	開始	平成23年度	終了	0年度	
関連法令・条例・要綱等	札幌市文化芸術基本条例					
他都市の状況	銀座ギャラリー(東京)、セントラルギャラリー(名古屋)					

◎事業費

(単位:千円)

	令和2年度決算	令和3年度予算	令和3年度決算	令和4年度予算	
事業費	11,230	12,087	11,230	12,087	
うち特定財源	0	0	0	0	
人工	0.4	0.4	0.4	0.4	
人件費	2,880	2,880	2,880	2,880	
計(事業費+人件費)	14,110	14,967	14,110	14,967	
事業費の内訳	令和3年度決算	・500m美術館企画運営委託費 10,791千円 ・その他 439千円			
	令和4年度予算	・500m美術館企画運営委託費 10,800千円 ・その他 1,287千円			

◎検証(振り返り)

活動指標1	指標名	企画展開催数			
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
	1	4	4	4	
活動指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度予定	令和3年度実績	令和4年度予定	
成果指標1	指標名	鑑賞者アンケート展覧会内容「良い」「まあ良い」回答割合			
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
	集計なし	80%	74%	80%	
成果指標2	指標名				
	令和2年度実績	令和3年度目標	令和3年度実績	令和4年度目標	
項目	判定	理由			
事業の成果 (目的をどの程度達成できたか)	A	年4回の企画展を開催し、地下空間をアーティストの発表の場として提供するとともに、市民が身近にアートに接することのできる機会を提供した。 また、市民ボランティアの企画・運営による展覧会も実施し、その活動を支援することでアートにかかわる人材育成の観点からも一定の成果を得られた。			
事業規模 (事業ボリュームは適切か)	A	展覧会の実施にあたっては、企画の段階から作家との交渉が始まり、企画内容や出展作家との交渉が始まり、企画内容や出品作家決定後には、作家による作品制作など一定程度の準備期間が必要である。このため、展覧会の実施回数等については適切であると考えます。			
事業の実施手法 (事業の効率性、実施主体は適切か)	A	展覧会の企画構成、作家の選定という専門性から、委託業務による実施は適切と考えられる。地下通路に設置された施設のため、企画展の内容について、有識者で構成される500m美術館専門委員会より助言も受けている。			
対象者の満足度 (対象者のニーズに込えているか)	A	WEB上で実施した500m美術館鑑賞者アンケート(9/9～翌年4/13実施)では、展覧会内容への評価として「良い」「まあ良い」との回答が7割を超える結果となり、概ね市民のニーズに込えている。			
市民参加の実施	<input checked="" type="checkbox"/> 企画 <input checked="" type="checkbox"/> 実施 <input checked="" type="checkbox"/> 評価 <input type="checkbox"/> 対象外 市民参加結果への対応 <input type="checkbox"/> 回答 <input checked="" type="checkbox"/> 反映				
今後の改善点	施設に掲示する解説について、展示された作品やアート全般へ理解が深まるよう、分かりやすい内容にする。				
前回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
今年度取り組んだ見直し内容	感染症対策のため、鑑賞者アンケートを対面ではなくWEB上で実施した。		見直し効果額 (前年度)	0	千円
今回の評価	● A ○ B ○ C ○ 評価省略対象事業・前年度実施なし				
評価の理由	アーティストに対し発表の場を提供するとともに市民が文化芸術作品に触れる機会を提供した。うち1回は市民ボランティア主体で企画展を実施することにより文化芸術に関わる人材育成にもつながった。				
次年度の取組の方向性・改善内容	事業内容	<input type="checkbox"/> 改善 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 休止・廃止 引き続き企画展の開催によりアーティストの発表の場や市民の文化芸術に触れる機会の提供、人材育成の役割を担っていく。			
	予算	<input type="checkbox"/> 拡充 ● 現状維持 <input type="checkbox"/> 縮小 <input type="checkbox"/> その他 同程度の予算で事業を実施していく。		見直し効果額	0 千円